

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 6 年 4 月 1 日

事務事業名		耕作放棄地対策事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続	新規	事務事業No.	040104000860	
総合計画の施策名		0401 農林業の振興				単独/補助	補助	所属課	050101 農林課	
政策体系	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						課長名		
	施策名	01 農林業の振興						グループ	農政G	
	手段名	04 ④農村環境の保全						担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	06	01	04	01	00	農業経営支援事業			
法令根拠	桜川市荒廃農地解消事業補助金交付要綱					単年度繰返し ( 令和 2 年度～)				
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)					☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入				

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順		
	<p>桜川市の荒廃した耕作放棄地を引き受けて作物生産を再開する認定農業者、集落営農組織などの中心経営体が行う再生作業や土づくりの取組を支援する事業である。</p> <p>農林課が農業委員会と協力し対応する。</p> <p>耕作放棄地の再生作業 (障害物除去、深耕、整地等) ・土づくり (肥料、堆肥の投入等) を実施した場合に、一定の額を助成を受けることができる。</p>		<p>事業に対する要望を受け付けると同時に、要件と照らし合わせ適否の確認を行う。交付対象となる取り組みがある場合には、速やかに種々の事務手続きを行う。</p>		

①手段 (担当者の活動内容)							④活動指標 (活動量を表す指標)					単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>申請書を受け付け後、現地確認及び審査を行う</li> <li>補助金決定通知書で通知する</li> <li>事業実施主体による事業実施 (耕作放棄地の再生作業)</li> <li>事業実施主体からの実績報告</li> <li>補助金額確定通知で通知後補助金の交付</li> </ul>							荒廃農地解消事業補助金利用者数					人	2.00	3.00	8.00	8.00	8.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)							⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)					単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
<p>桜川市内の中心経営体、認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織のいずれかかつ、利用権設定を行い5年以上の耕作を行う者。</p>							要綱に定める対象農地					㎡	164,000.00	154,210.00	140,000.00	130,000.00	120,000.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)							⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)					単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
耕作放棄地の解消事業に支援を行い、耕作放棄地の増加を抑える。							解消面積					㎡	9,790.00	25,587.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③ 投入量 (事業費) の推移				05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	490	1,730	700		
事業費計 (A)			千円	490	1,730	700			
正規職員従事人数			人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)				07年度事業費 予算 (千円)			
	18 負担金補助及び交付金	1,730			18 負担金補助及び交付金	700		
				合計	1,730		合計	700

④ 当該年度の実施内容 ※年度ごとに事業内容を記入する		07年度の事業内容		08年度の事業内容		09年度の事業内容	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の周知活動</li> <li>交付金の申請及び交付業務</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の周知活動</li> <li>交付金の申請及び交付業務</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の周知活動</li> <li>交付金の申請及び交付業務</li> </ul>	

事務事業名	耕作放棄地対策事業	事務事業No.	40104000860	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成30年に国の「耕作放棄地再生利用緊急対策」が終了したことを受け、桜川市担い手・耕作放棄地部会員から同様の事業を策定してほしいとの希望が上がった。市内荒廃農地の解消という観点からも同様の政策が必要と思われたため事業開始に至った。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 担い手・耕作放棄地部会員からぜひとも耕作放棄地対策となる義業を策定してほしいとの要望が寄せられた。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 耕作放棄地を再生利用する事業であるため、耕作放棄地の解消を図ることにより、農村環境の保全につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 耕作放棄地が増加することで、雑草の繁茂により引き起こされる病害虫の発生、さらに一体的な農地利用の分断による作業効率の低下、農村景観を損なう要因、食料自給率の低下等を招いてしまうため、耕作放棄地対策事業を実施することは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 当事業の周知徹底を図り申請人数が増加すれば、より多くの耕作放棄地の解消作業が実施されることとなるため成果の向上余地がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 耕作放棄地が今以上に増加し、そのことに伴い農村環境の保全に努めることもより一層困難なものになってしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最低限の事務量である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の中心経営体が対象であるため、適切である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 当事業を実施することにより、耕作放棄地の解消を図り、農村環境の保全に繋がる。周知を徹底することにより、事業実施者が増加すれば、成果の向上余地がある。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
成果	向上	コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 当事業の対象者に向けて事業の周知徹底を図ることにより申請人数が増加すれば、耕作放棄地の解消に対して成果の向上につながる。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---